

令和4年8月25日

愛媛大学

## 社会基盤メンテナンスエキスパート(ME)養成講座を開講します

老朽化が進行しつつある社会基盤の諸施設に対して、その整備と維持管理の知識と技術を有する技術者の育成が求められています。このような技術者の育成を目的として、愛媛大学では標記の養成講座を開講します<sup>注)</sup>。講座終了後に一定の知識と技術を習得したと判断された受講生には「四国社会基盤メンテナンスエキスパート(四国 ME)」の資格を認定授与します。

この講座は平成26年度から始まり、本年度で9期目を迎えます。延べ12日間の短期集中カリキュラムにより、管理者(行政)と建設業関連者(民間)の技術者が所定の科目を履修することで、共に高度な知識を持つ総合技術者の育成と相互の連携を目指します。

つきましては、ぜひ取材くださいますようお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症対策のため、受講方式が一部変更となる場合があります。

### 記

**実施期間:** 令和4年9月1日(木)～10月7日(金)

**開催場所:** 開講式・座学など(愛媛大学社会連携推進機構 2F 研修室他)、実習フィールド

**受講生:** 28名 **講師陣:** 35名

**【開講式】** 令和4年9月1日(木) 8:30～10:00

**【講座概要】** ※詳細は、別紙時間割をご参照ください。

- ① 9月7日(水)～9月9日(金) 橋梁のメンテナンス
- ② 9月21日(水)～9月22日(木) トンネル、下水道のメンテナンス
- ③ 9月28日(水)～9月29日(木) 港湾・海岸、河川構造物のメンテナンス
- ④ 9月29日(木)～9月30日(金) 斜面、擁壁のメンテナンス
- ⑤ 前後4日間、インフラマネジメント等の講義

**【閉講式】** 令和4年10月7日(金) 16:20～17:50

注) 我が国の社会基盤は、今後、急速に高齢化(建設後50年)の時代へと移行します。一方で、我が国の社会情勢は少子高齢化による人材(技術者)や予算の不足などが極めて顕在化する時代となります。特に四国地域のような社会環境の縮退が進みつつある地方圏においては両者の負荷はさらに深刻です。そのため、愛媛大学では平成26年度より「社会基盤メンテナンスエキスパート(ME)養成講座」を開設し、俯瞰的な視野から専門や所属の立場を越えて地域の総力でもって社会基盤の維持管理(インフラマネジメント)に取り組む体制と人材(四国ME)の育成に取り組んでいます。現在、四国MEは産官で合わせて181名に達しています。

[ME養成講座 HP]

<http://www.cee.ehime-u.ac.jp/me/>

本件に関する問い合わせ先

愛媛大学防災情報研究センター

山本、新門

TEL:089-927-9021

Mail:kensien@stu.ehime-u.ac.jp

※送付資料2枚(本紙を含む)

令和4年度 社会基盤メンテナンスエキスパート養成講座 時間割

科目枠	開催日	1時限目 (8:30~10:00)	2時限目 (10:20~11:50)	3時限目 (12:40~14:10)	4時限目 (14:30~16:00)	5時限目 (16:20~17:50)	
前半	1	9/1 (木)	【開講式】 ガイダンス アイスブレイク	社会基盤と 維持管理 (総論)(取り組み)	社会基盤のアセットマネジメント		グループ事例研究
	2	9/2 (金)	舗装の設計と 維持管理	劣化モデルと 評価手法	劣化モデルと 評価手法<演習>	道路附帯設備の 点検と補修工法	リスク マネジメント
	3	9/7 (水)	橋梁上部工の 設計と維持管理 (鋼橋)	橋梁上部工の 設計と維持管理 (コンクリート橋)	<実習> コンクリートの 耐久性試験	橋梁上部工の 設計と維持管理 (床版)	橋梁構造物の 下部工の 設計と維持管理
	4	9/8 (木)	鋼橋の損傷と対策	コンクリート橋の 損傷と補修工法	橋梁の補修設計	橋梁構造物の 基礎工の 設計と維持管理	橋梁の耐震補強
	5	9/9 (金)	橋梁の 維持管理手法	<実習, 演習> 橋梁の点検と診断, 補修			
	6	9/21 (水)	トンネルの設計	トンネルの 変形と補修工法	下水道の 維持管理	<実習> 下水道の点検と診断, 補修	
	7	9/22 (木)	トンネルの 点検と診断	<実習, 演習> トンネルの点検と診断, 補修			
後半	8	9/28 (水)	港湾・海岸施設の 損傷と補修	港湾・海岸施設の 維持管理と点検	<実習> 海岸施設の点検と診断, 補修		グループ事例研究
	9	9/29 (木)	河川構造物の 維持管理	河川堤防の 損傷と補修	斜面の設計と 維持管理	斜面の設計と 維持管理<演習>	グループ事例研究
	10	9/30 (金)	擁壁の設計と 維持管理	擁壁の設計と 維持管理<演習>	<実習> 自然斜面, 落石, 切土, 擁壁の点検と診断, 補修		
	11	10/6 (木)	四国・愛媛県の 地形と地質	ライフサイクル コスト	維持管理の 新しいアプローチ (橋梁の簡易点検)	<実習> 詳細点検のための 非破壊検査技術	維持管理における AI技術
	12	10/7 (金)	地域の地盤特性と 健全度評価	メンテナンス 技術者倫理	社会基盤と維持管理 ワークショップ		【閉講式】 今後の技術 向上に向けて
eラーニング							

【主な科目】

前半: インフラマネジメント(1), 橋梁のメンテナンス

トンネルのメンテナンス, 下水道のメンテナンス

後半: 港湾・海岸施設, 河川構造物, 斜面・擁壁のメンテナンス

地質と地盤, 新技術, インフラマネジメント(2), 技術者倫理, ワークショップ

【内訳】

座学	55.5 時間	37 コマ
演習	7.5 時間	5 コマ(実習内含む)
実習	22.5 時間	15 コマ
グループ研究	4.5 時間	3 コマ
レポート作成	18.0 時間	12 コマ
eラーニング	13.5 時間	9 コマ
121.5 時間		(1コマ=1.5時間)